



与謝野町

YOSANO GIKAI

議会だより



未来を担う
新成人の皆さん
おめでとう!

主な記事

■ 12月補正予算 2~6

■ 委員会の活動報告 12~13

■ 議長の新春あいさつ 2
● 与謝野町議会 議長 糸井 満雄

■ ここが聞きたい(一般質問) 14~22
● 17人が理事者の見解をたず

■ そのほかの審議案件 7~9

■ まちの宝 子どもページ 23~24

■ 意見書・陳情書 10~11

12月補正予算

一般会計・累計総額
109億円に

- 健診事業追加……1,112万円
- 橋中・耐震診断……928万円

- 障害者支援事業……732万円
- 河川災害復旧……764万円

12月補正予算額

[単位：万円]

補正予算名	補正額	累計総額	
一般会計3号	7,115	109億0,975	
特別会計	簡易水道2号	834	11億8,443
	下水道1号	1,638	18億4,637
	農業集落排水1号	63	1,994
	介護保険2号	12	18億7,195
	国民健康保険2号 (事業勘定)	1億4,245	25億6,274
	老人保健1号	1億5,580	23億2,350
	水道会計2号	収益的収入	200
収益的支出		347	1億7,422
資本的収入		△1,000	1,125
資本的支出		△2,000	7,860

一般会計3号補正予算

今回の補正予算審議は延べ15人の議員が、各分野広範囲に質疑を行い、厳しい財政の有効的活用を求め、全員賛成で可決されました。

〔主な事業〕(単位：万円)

●健康診査事業追加

一、一一二

●橋立中耐震診断

九二八

●河川災害復旧事業

七六四

●障害者地域支援サービス委託料ほか

七三二

●堀池用水路改良工事

六九六

●衛生プラント改良工事

三〇〇

●コミュニティ備品整備補助金

二五〇

●防災行政無線整備工事費

二〇四

●蛇谷堰堤浚渫工事

二〇〇

●学童保育所雪止め工事

一〇〇

質疑

伊藤・服部・勢籙・島山・有吉・野村・浪江・井田・赤松・小林・多田・森本・廣野・家城・今田



商工観光課長 検討したい。

「格差社会」と言われており、町内も長引く不況と、京都の和装大手の倒産などで深刻だ。地元業者も住民も営業と暮らしが重大な事態になっている。いまこそ実態調査をすべきではないか。

営業と暮らしは深刻、実態調査を伊藤 幸男 議員

いま日本は

12月定例議会のようす

12月定例議会は、開会に先立ち、11月27日の議運で提出議案と会期(12月7日から12月22日の16日間)が協議されました。12月議会の町長提出議案は、補正予算8件と契約案件4件、条例案件など、計22件が原案どおり可決されました。議員提出の意見書案では3件のうち2件が可決され、条例規則改正2件が可決されました。

議員発言は延べ45人が行ない、活発な議会となりました。一般質問は、6月以来、議長を除く17人全員が行ない、まちづくりなどで、町長の見解を求めました。この様子が、町有線テレビKYT3chでも録画放映がされました。また、インターネットでの生中継がされました。10、11月には各常任委員会が先進地視察を行いました。

将来の宝！ 三河内幼稚園作品展





本格的なまちづくりで 躍進する与謝野町を目指そう

議長 糸井 満 雄

町民の皆様には、平成19年の新春をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

『与謝野町』も初めての新年を迎え記念すべき新春となりました。

本年が町民の皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年でありますよう、お祈り申し上げますと共に日頃からの議会に対するご理解とご支援に、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返って見る時なんとと言っても最大の出来事は、三町合併であります。

『与謝野町』は、昨年3月1日

誕生し歴史的な第一歩を踏み出すことになり、早や10ヶ月を経過しましたが、町を取り巻く環境は、行財政改革、地方分権、少子高齢化などに加え、地方交付税の縮減など一段と厳しい状況となっており、地方議会の果たすべき任務は益々重要なものとなっています。

従って私たちは、三町の特性を活かしつつ、合併のメリットを最大限活用したまちづくりに向けて一段と努力を傾注しなければなりません。

19年度は、本格的なまちづくりの基本となります総合計画の基本構想が策定される運びと

なっており、新年度予算も3月定例会に提案されます。

これらは、『与謝野町』のまちづくりの指針となる最重要案件だけに、本年度を本格的な「まちづくり元年」と位置づけ、真剣に取り組みをしてまいりたいと思います。

議会は、町民の意見を町政に活かす大切な場であります。開かれた議会、信頼される議会として、活性化を図りながら、町民の付託と期待に応えられるよう、これからも精一杯まちづくりに励んで参りますので、町民の皆様の一層のご協力を切にお願い申し上げます。



仲良くパズル遊び (市場保育所)

建設課長 すでに路線は決定されていく。今から変更となると多額の費用が掛かる。又この件については都市計画審議会でも決定されている。今の路線で住民に理解してもらえないよう努力して行く。

質問 勤務地以外での広域入所の要望があるが。町長 住民の方のニーズは多様化してきている。対応出来るよう進めていきたいが、近隣の市や町との連携が必要である。

政難の折わからない。縦貫道路線変更は何故 質問 京都縦貫道の石田地区取付き部分が当初の説明より大幅に北に振れた。そのため墓地の移転、民家への障害、環境問題等が生じ、住民の反対運

動が起きている。町への陳情、公聴会も行なわれた。このままでは、せっかく須津まで来ている道路の着工が遅れる可能性も有る。この事は単なる道路問題のみにとどまらず、疲弊した丹後の経済を更に悪化させる事にも繋がる。何としても早期着工を望む。そのためには地元住民に対し心ある経過説明が必要ではないだろうか。

保育所の広域入所 浪江郁雄 議員 質問 広域入所の条件は。福祉課長 町外に勤務され、町内の保育所では時間的に対応が難しい場合、勤務地にある保育所が利用できる。また、里帰り出産など短期ではあるが、町外の保育所に入所出来る。

遊具全滅・雨漏り・老朽校舎への対応は

服部博和議員

質問 山田小学校は遊ぶところが無い。雨が漏る。これでは児童にストレスが溜まる。いじめ・非行に繋がらないか心配だ。教育長 雨漏りは補正計上した。遊具は予算計上出来た。遊具は雨漏り、財政難の折わからない。

このままでは、せっかく須津まで来ている道路の着工が遅れる可能性も有る。この事は単なる道路問題のみにとどまらず、疲弊した丹後の経済を更に悪化させる事にも繋がる。何としても早期着工を望む。そのためには地元住民に対し心ある経過説明が必要ではないだろうか。



安全に遊べる遊具を！

農道舗装等どう進める

勢篠 毅議員

質問 農道舗装は今後の農地を守るためにも必要な事業で、今後全域での要望になると思うが。

農林課長 香河の日晚寺で3ヶ年計画で進めており、過疎や高齢化の中で農業用施設の維持管理に大変な時代がくるので、中山間助成の活用や新事業の導入を考えている。



舗装された農道

新しい取組に期待

質問 クアハウスの現状と与謝の海病院とタイアップしての健康増進への話は前進しているか。

商工観光課長 依然として厳しいが収入の確保に全力をあげている。府のバックアップもあり、宿泊関係もまとも商品化出来たが、まだ利用には至っていない。

職員の話について

質問 人事院勧告で、地域の賃金と給与を近づけることが今後の目安とされているが。

総務課長 17年度勧告から方向が出され、5年をかけて近づける。

質問 職員と話し合いをする場合、職員団体が組織されていないが。

町長 職員の自主的判断だが、意見を聞く場面は必要だし、作りたい。

暮らしの資金有効活用を

畠山 伸枝議員

質問 クアハウスの委託料が減っている。職員の努力はよいことだが、シルバー人材センターに登録している人の仕事は減る。不況で仕事のない今こそ本当に困った人の命綱として、暮らしの資金が求められているが。

福祉課長 ここ数日、借りに来る人が増えている。正月を迎えるために資金が要るのだと思う。

中には計画的な返済が困難ではないかという人

もあるが、できるだけ貸すようにしている。

公営住宅家賃対策とは

質問 歳入で減額だが、どんな制度か。

建設課長 民間の家賃との差額の差を国が補助するものであったが、今回制度が変わった。

質問 今年度から高齢者の負担が大変増えている。将来的に家賃の値上げになる心配はないか。

建設課長 今は聞いていないが、家賃算定するとき計算方法が変わることが若干あるようだ。

防災無線放送の確認

有吉 正議員

質問 難聴地域、聞き逃した放送の再確認のために、近々の放送をテープで確認できるように出来ないか。旧出石町ではそのサービスがあると聞いている。

総務課長 機械的対応はしていないが、昼間は職員で対応し、夜間は宿直員が放送原稿を持ち、問い合わせに応じている。



整備された急傾斜地

これまでは対応が出来ていないと考えているが、今後町全域に防災行政無線を整備していくかどうかの検討をしている最中。このことも検討材料に加えたかと考える。

急傾斜地の整備

質問 急傾斜地の整備は町の分担金条例では、京都府が施行し、与謝野町が事業費の一部を負担する急傾斜地対策事業について分担金を徴収する」とある。分担金を持てば

事業所の裏でも整備可能ではないか。

建設課長 府のこの制度は住民が住んでいる所が対象となっている。事業所だけという箇所は対象になっていない。

質問 急傾斜地について、その把握はどこがされているか。

建設課長 京都府が把握している。指定については、戸数・法面の勾配等が条件になる。



現在着工中の三河内大橋塗装工事

障害者や事業所に

助成制度を

野村生八議員

質問 全国的にも3割の自治体が、何らかの助成制度をつくっている。障害者や事業所には大変な制度になっている現れである。今回、作業所交通費補助の充実が提案されているが、引き続き助成の取り組みを。
町長 できる限りの応援がしていきたい。

ライブ中継

多くの人が見られる対策

井田義之議員

質問 議会のライブ中継の難聴に対する苦情が多く容量不足との意見も聞く。容量を増やす計画は。
企画財政課長 いろいろな角度から調査中でありその件もふまえ今後の課題と認識している。
小・中学校の耐震対策 **質問** 耐震診断の結果や補強後の強度を専門的な『IS値』で

答弁されても理解に苦しむ。
新聞に京都市の建物が震度で表わされ解りやすい。当町では何故出来ない。
教育推進課長 新聞記事見ない。委託業者からIS値で報告を受けているがしっかり検討する。

農道に一般車輛の規制を

多田正成議員

質問 最近農道を一般車輛がよく通り、道が傷み耕作組合の人が困っているが、補修や舗装など町はどう考えるか。また、一定の車輛規制を。
農林課長 補修は対応している。舗装については一般車輛の規制は町としてはできない。農道とみるか、町道から町道のアクセス道路とみるかで考え方が変わるので、今後農家の方とも調整したい。

三河内大橋の塗装工事 **質問** 当初の予算が千二百万円の工事が四百三十万円の落札請負となっているが、工事に安全や支障はないか。予算と落札価格に差がありすぎる。
建設課長 当初は仮設工事と安全ネットを見積っていたが、実際には仮設工事は必要なく安全ネットだけでよいと判断したのと、落札差金とで大幅減の補正となった。工事には何の問題もない。

豆っこ米の

新町での展開は

森本敏軌議員

質問 農業機械補助金が補正計上されているが。
農林課長 町が進める自然循環型農業推進のため、豆っこ肥料を散布する機械の購入に補助する。
質問 合併して農家も多くなった、豆っこ米の推進、振興は。
農林課長 18年産のコメについて既に、旧野田川で実証のかたちで入っている。食味について良い結果が出れば全町的に推進したい。

自転車道の有効的な活用を
家城 功議員 **質問** 自転車道の管理委託金の減額は、京都府が直接委託すると聞いているが、これまでの管理委託の内容と、この道路の本来の目的は。
建設課長 主に草刈が委託内容である。目的は、観光目的が主で、加悦の道の駅から岩滝橋まで現



今後どう活用する？ 自転車道の有効活用を！

在 completion している。最終的には、天橋立周遊や宮津方面にも延びる予定で京都府が整備している。
質問 京都府の管理という事は理解できた。この道路は、「観光」ということが目的にしては、夜間非常に暗い。昼でも死角になる場所には、タバコの吸い殻や飲食物のゴミ等が散乱している。健全であるべき場所が、犯罪や非行につながることは、良くないのではないかと考えている。
町長 厳しい町財政の中で、何が必要なのかを十分に検討し、総合計画の中に取り入れて行きたいと考えている。

簡易水道会計2号補正

質疑 畠山・伊藤・井田
(全員賛成)

水道メーター

「検針委託料は適正か」

畠山 伸枝 議員

質問 水道メーターの検針委託料が一件当たり50円に統一されたが、地域によって広さが違う。バイクもガソリン代も

自分持ちでは平等とは言えないのではないか。

水道課長

合併前に調整され決定をした。計算の上妥当だと思ったが、もう一度検針員の意見を聞いて、交通費なりガソリン代なり考えたい。

起債残高はいくらに

伊藤 幸男 議員

質問 今回の地方債追加で起債残高は？

水道課長 約38億円強になる。

用地測量

職員の技術向上を

井田 義之 議員

質問 今回補正のような簡易な測量は職員で出来ないのか。

助役 今後の検討課題と受止め努力する。

下水道会計 1号補正

質疑 井田
(全員賛成)

整備基金の積立の増額

井田 義之 議員

質問 今回千七百万積立た合計は。供用開始から10年経過し基金は今後益々必要と考える。

下水道課長 今回の積立を含め六千四百七十万。



農業集落 排水会計 1号補正

質疑 今田
(賛成多数)

質疑 今田

国民健康 保険会計 2号補正

質疑 勢旗
(全員賛成)

国保の運営状況は

勢旗 毅 議員

質問 療養給付費が補正されたが最近の動向は。

保健課長 1ヶ月約九千六百万で高額療養費の最高が1件七百万円。

老人保健会計 1号補正

質疑 勢旗
(全員賛成)



発行までの編集・構成・チェック等 委員会全員でがんばっています。

H17府市町村 交通災害共済 組合決算

解散により関係議会に承認を求めるもの。

(全員賛成)

議会広報委員会からのお知らせと、お願い

与謝野町議会広報特別委員会

日頃から皆さんのご愛読を頂き、本当にありがとうございます。

●与謝野町「議会だより」も第3号を発行することになり、まだまだ改善する点がありますが、編集パターンもほぼ確立してきたように思います。
●与謝野町「議会だより」は、全体の編集を広報委員会で行なっていますが、議員発言（基本的に本会議での質疑や討論）はその発言議員が理事者答弁も含めて、自ら責任を持って原稿を書き上げることになっていきます。

また、発言回数にかかわらず、1議員あたりの原稿枠（行数）が、次のように決められています。
【一般質問で40行。討論で20行（2回以上の場合30行以内）。質疑で50行となっています。（※1行が11字）。これは、紙面作成の制約から決められたもので、議会広報のルールにしています】

●議会広報委員会では、住民の皆さんに出来るだけ読みやすく、解りやすくするための改善の努力はしておりますが、議員の提出原稿を尊重する立場で対応しています。

●また、この「議会だより」に対する、ご批判やご意見、ご要望、改善策などのご提案など、ぜひお気軽にお寄せください。今後は、親しみやすい「議会だより」にしていきたいために、皆さんの「ご意見」も掲載していきたいと考えております。今後とも、ご愛読いただきますよう、お願い致します。

条例改正

与謝デイサービスセンター及び在宅介護支援センター条例の制定

(全員賛成)

を処理するもので、平成20年4月から実施予定。

質疑 伊藤・勢旗・野村
(全員賛成)

75才歳以上の

医療制度に町は

勢旗 毅 議員

質問 後期高齢者医療制度で町の役割は。

保健課長 75歳以上の高齢者を新たな保険として制度化されるもので、保険料徴収と情報提供の役割を負うが、保険料は年金徴収となる。

いる」というのはどういうこと？

福祉課長 高齢者の場合、国保は負担があるが、社保では、高齢の被扶養者は負担がないなど…。

後期高齢者医療制度

野村生八 議員

質問 75歳以上を後期高齢者として、健康保険や国保から切り離し独立した医療保険制度をつくる。医療費の抑制と国の負担減が目的で、医療改悪であることは明確である。多くの人が保険料の引き上げになるのでは。

保健課長 介護保険と同じく、保険料は年金から天引きになる。健康保険の扶養家族は、今は負担が無いが新たに年7万4千円の保険料になる。国保の人は、軽減対象者以外は、年約2万円から3万7千円になる見込み。

質問 滞納者から保険証を取上げ、病気になることも受診を控え、死亡する事件も起きています。こういうことが起きないか。

保健課長 保健課としても心配なところである。

質問 町の無料健診は喜ばれているが、今回の制度でできなくなるなど多くの問題がある。後期高齢者の医療とくらしを守るため、積極的な働きかけが必要だ。

町長 多くの問題があり、安心してくらす国づくりができるのかなと感じている。町の良さが生かされ、制度が成り立つようすすめる。

後期高齢者医療 広域連合の設立議案

野村生八 議員

多くの問題が山積しており、国の後期高齢者制度では、くらしと命が守れないことは明らか。

しかし、これに加わらなければ当町の後期高齢者の医療ができなくなることから賛成する。

増税など格差社会をすすめているが、医療でも前期高齢者も医療費を1割から2割に引き上げ負担を増やす。お金がな

固定資産評価員の選任

・和田茂雄 税務課長

質疑 伊藤・井田

(全員賛成)

その他 審議案件

消防団員等
公務災害補償
条例の一部改正

公務により
負傷または疾病に係る場合
の傷病補償年金の一部改正
質疑 伊藤
(全員賛成)

規約の変更など

後期高齢者医療広域連合の設立に関する規約案

京都府下すべての市町村で組織する後期高齢者(75才以上)の医療事務

京都府下すべての市町村で組織する後期高齢者(75才以上)の医療事務

京都府下すべての市町村で組織する後期高齢者(75才以上)の医療事務

京都府下すべての市町村で組織する後期高齢者(75才以上)の医療事務



老人保健施設
なぎさ苑



整備された町道

京都府自治会館管理組合規約の変更

合併にともない同管理組合を組織する地方公共団体数の減に伴う規約の関係部分の変更。

(全員賛成)

京都市町村職員退職手当組合規約の変更

合併にともない同組合を組織する団体の減に伴う規約の関係部分変更。

質疑 伊藤

(全員賛成)

団塊世代の退職で財政的に問題は？

伊藤 幸男 議員

質問 団塊世代が退職年

年齢になっている。財政的な変動があるのでは？

総務課長 役員でないの
で、実情が掴めていない。
早急に調べたい。

京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

合併にともない同組合を組織する団体の減に伴う規約の関係部分変更。

(全員賛成)

京都府住宅新築資金貸付事業管理組合規約の変更

合併にともない同組合を組織する団体の減に伴う規約の関係部分変更。

(全員賛成)

与謝野町道路線の廃止・変更及び認定について

廃止路線

旧加悦町駒田住宅一号线及び二号線の2路線。

変更路線

旧町道路線名のなかで同名路線があるので、わかりやすくする目的から地域名を冠につける。

例 上地線・弓木上地線

・石川上地線

・後野上地線

など36路線あり。

詳しくは地域振興課又は建設課へおたずね下さい。

認定路線

旧加悦町区内 中村・大虫神社線の1路線。

質疑 伊藤・井田・赤松

(全員賛成)

地名変更は慎重に

伊藤 幸男 議員

質問 地名には歴史があり、変更時は文化協会などと協議を？

建設課長 今回も地元協議したが、今後も協議したい。

認定済の未施工町道は

井田 義之 議員

質問 旧野田川町で認定済で進捗のない町道があるが、他にはないのか。

建設課長 認定後に工事にかかるとは一般的であるが、旧加悦・岩瀧では工事完了後の認定であり、現時点では亀山・中地線のみである。

請負契約の変更

町道明石香河線改良工事

法面植生及道路側溝工事の追加するもの。

質疑 森本・伊藤

(全員賛成)

明石香河線の今後の進捗は

森本 敏軌 議員

質問 9月議会での請負契約の中に、この法面植生工と道路側溝が図面に示されていた。契約に入っていたのでは。

建設課長 色等で図面に示していたが、何れも含まれていなかった。

質問 平成21年を目処に

第1期工事が進められている。峠の切下げ、スノーシェルター等今後の進捗の動向は。

建設課長 今後に変更はない。今のところ計画通り順調にすすんでいる。

質問 この道路は、辺地対応で有利な辺地債と国庫補助が充当される。パイパスまで繋げる場合辺地を外れてくるが、その対応が見込まれるか。

企画財政課長 辺地へ通ずる道路という位置付けをするなら、辺地債の充当は可能だ。

現時点の総事業費は？

伊藤 幸男 議員

質問 当初20億円計画だったのを10億円になった事業だが、現時点の総事業規模は？

建設課長 約8億円を予定している。



改修が待たれる明石～香河線

滝水源浄水設備新設工事

電気計装設備・配管・水位計などの仕様変更及び追加工事に伴うもの。

(全員賛成)

阿蘇シーサイドパーク施設整備工事

仮設水路の設置及照明灯などの工事に伴うもの

質疑 谷口・井田
(賛成多数)



工事中のシーサイドパーク

バブル期の過大計画では

谷口 忠弘 議員

質問 阿蘇シーサイドパーク総事業費約31億円の内訳は。

企画財政課長 国の補助金が約12億8千万円、起債は約14億2千万円、一般財源は約4億2千万円です。その内起債の中で約5億3千万円が返ってくる。

質問 わかりやすく云えば、いったい町の持ち出し金がいくらになるのか又借金をいくらしようとしているのか。

企画財政課長 持ち出し金が約4億2千万円、借金が約9億円になる。

質問 工事の進捗状況と付帯設備として何が残っているのか又あといくらの事業費が残っているのか。

建設課長 工事は約80%の進捗状況で、後、管理棟やイベント広場、植栽などが残っている。事業費として約6億円残っている。

質問 9月議会で維持管理費が年間316万円と聞いたが、この広さと誘客者のゴミ処理問題、トイレ使用など維持管理費の精査が甘いように思われるが。

建設課長 今後もいろんな角度で精査したい。

質問 工事が80%まで進んでいるので完成迄一定の整備は必要と思うが、今後の工事については、

事業費の縮減、見直しを図るべきだと思うが。

町長 旧町からの事業でその時々思いが込められた事業だと思ふ。しかし財政が厳しい状況なので後のことは慎重に考えていきたい。

質問 完成まで5年、5億程見込まれているが、計画から20年経過し議会でも見直し意見が多い。整備計画設計審査委員会を早く立ち上げ、利用計画も含め協議を急ぐべきと思うが。

建設課長 委員会を19年中に設置し、見直し等は20年度からと考える。

阿蘇シーサイド見直し必要
井田 義之 議員

岩滝の山手線
法面整備工事

工事中の交通整理員の減数に伴うもの。
(全員賛成)

議会条例・規則の改正

町議会条例の改正

地方自治法の改正に伴う条例改正。
(全員賛成)

町議会会議規則の改正

地方自治法の改正に伴う規則改正。
質疑 服部
(全員賛成)

政務調査費の設定を

服部 博和 議員

質問 提案の基本は、立法的機能と政策立案能力それと財政的機能が要だ。更なる調査研究と資質の向上が求められるが政務調査費の設定が出来ないか。

提出者 委員会の中でも必要との意見が多くあった。以前にも要求はした。今後もし引き続き議論して行かなければならない。



完成なった山手線法面

意見書

道路整備の充実を
地方交付税の確保を
高規格道の説明会を

全会一致
全会一致
賛成少数



改修はいつ？ 岩屋峠

地方道路整備の促進と 財源確保に関する意見書

(意見書要旨)

道路は社会活動や経済を支えるため必要不可欠である。丹後地方の道路行政の遅れを認識され、必要な道路を着実に整備するとともに、都市部と

の格差が拡大しないよう強く要望するもの。

(審議経過)

提出者(廣野産建委員長)より提案説明のあと、質疑を行い原案通り可決しました。
質疑 今田

町村税財源の充実確保 に関する意見書

(意見書要旨)

国の「歳入歳出一体改革」で交付税の大幅な削減が掲げられている。既に地方は歳出削減に努力しており、自治の根幹を揺るがしかねない事態になっている。地方交付税の一方的削減をやめるよう求めるもの。

(審議経過)

提出者(井田議運委員長)より提案説明のあと、原案通り可決しました。

石田地区「高規格道」 路線の住民説明を求め る意見書案

(意見書要旨)

石田地区の住民26人から宮津網野線の路線変更を求める「陳情書」が提出された。京都府と住民の間に「誤解」が生じているため、京都府に住民説明会の開催を求めるもの。

(審議経過)

提出者(伊藤議員)より提案説明のあと、質疑、討論を行い、賛成少数で否決されました。

質疑 今田
賛成討論 島山・野村
反対討論 廣野・赤松・井田

議会として意見書提出すべきでない
井田義之議員

石田地区の26名から提出された陳情書の取り扱いに関し、産業建設常任委員会に委任され、委員

会に於て時間をかけ、現地及び町建設課など調査を実施していただき感謝致しております。

その中で説明不足、再度の説明必要の意見もあり、これをふまえた議員提案と理解致しますが、この対応は町建設課なり府出先機関で処置すべき案件と考え、府知事宛に意見書を提出すべきでないかと判断致します。

意見書の重みを認識し本意見書案に対する反対討論と致します。



宮津インターチェンジ料金所



仮称 岩滝・野田川インターチェンジ付近

賛成討論

「高規格道」路線の
住民説明を
岡山 伸枝 議員

地元住民からの陳情書は、経過や切実な内容からも議会としての回答が当然求められるべきである。京都府の説明が不十分であったため、住民に認識のズレや誤解が生まれている。現在のルート

に変更された理由についても明確な回答がない等京都府の対応は誠実さに欠けるものである。

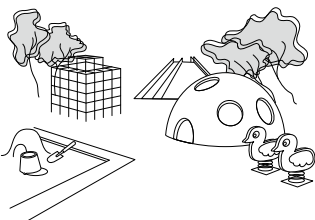
納得できない住民との間で、測量や工事の際にトラブルが起こることが懸念される。当地域住民の誤解を解消するために、京都府に住民説明会の開催を求めるものである。

反対討論

委員会として
意見書提出に反対
廣野 安樹 議員

産業・建設委員会へ調査依頼で現地調査、経過を各担当者から詳細に説明を受け、2日間議論を行い、府の説明に対し、理解しにくい面もあるし、26名の陳情者の気持ちもわかるが、委員会として結論はむずかしい。

11月22日府の都市計画審議会が承認されている中で、委員会として疑問点のみの意見書を提出することは、議会としても問題もあり、採決の結果否決と決定しており、本意見書に対し、反対をいたします。



地域の中核・与謝の海病院

陳情書・要望書

9月以降、議会に寄せられた陳情書や要望書は次の通りです。

宮津都市計画道路の原案ルートの調査および変更に関する陳情書
提出者 茂呂政雄ほか
25人

国に対し、06年4月診療報酬改定による「リハビリテーション」の算定日数制限を中止するよう求める意見書提出を求める陳情書
以上4件

提出者 京都府保険医療協会（理事長・木村敏之）

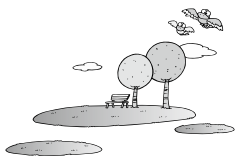
すべてのリハビリテーション対象者にリハビリテーションの継続と受療機会を求める陳情書
療養病床削減・廃止方針の見直しを求める陳情書
特定健診・特定保健指導を国の責任で行なうことを求める陳情書

お年寄りが安心して医療を受けられる後期高齢者医療制度となることを求める陳情書
以上4件

提出者 京都社会保障推進協議会（議長・津田光夫）

国に対し、療養病床再編・廃止見直しの意見書提出を求める陳情書
後期高齢者医療制度創設にあたり患者本位の医療実施を求める陳情書

国に対し、療養病床再編・廃止見直しの意見書提出を求める陳情書
後期高齢者医療制度創設にあたり患者本位の医療実施を求める陳情書



常任委員会の活動報告

総務委員会

委員長 赤松
副委員長 浪江

今田・小林
勢旗・野村

〔委員会の所管課〕

総務課・企画財政課
税務課・会計室
地域振興課

〔現在調査研究、協議事項〕

- 一、情報システム
 - 二、税金の滞納
 - 三、庁舎と組織
 - 四、消防・交通問題
 - 五、地域振興対策
- (安全安心、危機管理)
(旧町の均衡発展)
- ※その他所管に関する事項について議会閉会中も継続して調査研究、協議を行っている。懸案事項の方向性が決定次第に紙面

にて報告したい。

〔視察報告〕

一、目的

「住民本位のまちづくり」

二、視察地

「長野県栄村」

三、概要

a 日本一の豪雪の村

b 人口 2,515人

c 高齢化率 42%

d 県境の村

生活圏は新潟県

四、感想

a 金が無いから創意工夫が生れる。何も無いから今有るものを大切にする。

相互扶助の精神

郷土愛

b 村長の指導力と政策

国策は列島均一であるが、市町村はそれぞれ個性がある。それぞれの地



熱心に討論中

た先進地に共通していることは、時には国、県の方針に逆行して施策を展開している。

そして、そこには信念と政策形成能力に優れた首長の存在です。

一人の情熱と思考で町は変化します。私達議員は勿論のこと、職員、町民が、今一度郷土の大地を踏みしめて、地域にとつての過不足を改めて点検することを痛切に感じた。

域実情にあった政策を立案し、実施することを基本とされている。国政を論じる前に、自分達の村にあった政策を形成する。

c 国、府の方針に揺れるのが地方の多くの自治体の実情であることは明白である。しかし、国内の自治体としての成功例を視察すると、そういう

文教・厚生委員会

委員長 上山
副委員長 森本

畠山・井田
服部・糸井

〔視察報告〕

(11月16・17日)

高齢者向け

優良賃貸住宅の視察

鳥取県米子市のアザレアコート「こっほうえん」は、住み慣れた場所で暮らし続けることが出来る「新しい形の高齢者住宅」を提供している。

介護が必要な場合は、ホームヘルプサービス・デイサービス・24時間介護サービス(特定施設入所者生活介護)等の利用が出来る。

鳥取県から高齢者向け優良賃貸住宅として認定されているので、一定の所得以下の場合、鳥取県の家賃補助を受けることが出来る。

低所得者が多く、全部の4人部屋を新型個室にすると、低所得者が入所

出来ないと言われるが、不足分は「こっほうえん」が負担している。

お尋ねの与謝野町は都市部と異なり、周辺からの集客力がない地域、入所待機者の要介護度が2・3・4の方達が多く、実際に小規模多機能施設を利用されるかどうか調査して計画を進めながら、その周辺にグループホームを設置する事でより効率が良くなる。

介護保険は、待機者の解消が問題で、特養が一番良いとは限らないが、この視点を考えることで、在宅を上手に利用する方法と低所得者の方が入所できるシステムを作る事で、現状の一定所得者しか入所できない現象を打破していただきたい。

幼保一元化の先進地視察

加西市「賀茂幼稚園」平成13年、保護者のニーズに沿った、幼稚園と

産業建設委員会

委員長 廣野
副委員長 谷口

有吉・家城
伊藤・多田

〔視察報告〕

平成18年11月7～8日

視察 島根県雲南市吉田

町・株式会社よしだ村
だ村

目的 まちおこし・産業

振興について

雲南市は平成16年11月に6町が合併して出来た市、人口44,000人。その中の吉田町は地域づくりの知恵の源でした。日本でも有数の和鉄「たたら製鉄」で栄えた町、鉄の歴史村の景観作りや村に対してのまちづくりに関心と注目をしてきた。今では大手製鉄会社の研修の場。当町のちりめん街道事業の取組み、まちづくりも住民の郷土の誇り、生かそうとする住民の姿勢等、よく似ている状況に注目をした。



吉田村の研修風景（産建委員会）

株式会社よしだ村

（株）よしだ村は山地で水も空気も澄んでいる地域素材を生かし外貨を稼ごうと考え、行政主導で進めた事業は続かないと判断し、第三セクターで立ち上げ、当初資本金1500万円、役場の物

置を借り3人で始めた。当初の売上5000万円、現在では4つの事業を行っている。

売上の約50%近く地域特産品で特にたまごかけごはん専用醤油を全国に発信する等で17年度実績5億1200万円、従業員はパートを含め64人。若い方の意見を取り入れ、商品開発に力を入れ、営業員（販路開拓）に1人と、効率の良い営業を展開していた。

まとめ

わが町を愛し、わが町に自信を持つこととの大切さを強く感じた。

ブランド5

境港店
与謝野町にも出店計画のある大型小売店で郊外に、広い店舗で日

用雑貨、家電、衣料、生鮮食品等多くの品揃え、低価格。買い物を行う方には非常に楽しく便利。老人サロン・キッズルーム等完備、専属の保母もおり、子供を確認しながら買い物も出来る状況。

まとめ

- ・地元商店もサービス面で学ぶべき課題だと感じた。
- ・消費者の立場から安く魅力も感じるが商品は中国製がほとんど。
- ・会社の経営状況は5～6年前より急激にわるくなっている。
- ・近隣商店街の意見を聞けなかった。
- ・従来型の商店街での集客が望めない中、水木しげる（ゲゲゲの鬼太郎）ロードで観光商業の転換を図っていたが経営的に難しく感じた。

2日間、時間いっぱい
の研修を終え、実り多い
研修であった。

保育園の両方の機能を備えた「短時間保育部（幼稚園）」と「長時間保育部（保育園）」を設ける幼児園構想と在宅時も、でき

るかぎり保育・教育が受けられるサービス施設を、早急に立ち上げる内容が提唱された。

行財政改革の中で、幼児園の新設は難しく、「加西市幼児園特区」を国に申請し、平成15年に認可を受け、平成16年4月賀茂校区で保育所と幼稚園の機能を併せ持った賀茂幼児園が創設園として立ち上がった。

県内初「直接溶融方式」愛称「U」の視察

たつの市

の概要

一、資源ゴミを分別収集の後、その他のゴミを一括溶融処理をする。
二、溶融処理により生成された溶融物は、スラグ・鉄分に選別して資源として再利用される。
三、従来の埋め立て処分



公害のないごみ焼却施設を研修中

をする灰の20分の1を最終処分場に投棄し埋め立て処分場の大幅な延命化が図られ、排ガス処理をはじめ防音、防臭にも万全の配慮と可能な限りの自動化が図ってあった。燃焼室から放出した高温余熱で発電機を稼働させ、生産された電力は溶融施設の消費電力を賄うに充分な規模であった。

「水・緑・空、笑顔かがやくふれあいのまち」を――

一般質問

17議員が質問

ここが聞きたい

【質問通告の内容と質問者】

- ①見直すべき教育問題 一体となって
家城 功 議員
- ②人を育む教育は最重要施策では
森本 敏軌 議員
- ③年功序列から成果主義へ転換を問う
服部 博和 議員
- ④先生もパソコンを貸与
廣野 安樹 議員
- ⑤地域密着型サービス拠点の確保は
勢簀 毅 議員
- ⑥総合計画・都市計画今後の10年を問う
多田 正成 議員
- ⑦コンサル任せの総合計画ではダメ
谷口 忠弘 議員
- ⑧教育基本法が改正されたが
島山 伸枝 議員
- ⑨有線ビデオを図書館(室)公民館に
井田 義之 議員
- ⑩岩屋西部辺地計画の事業追加
有吉 正 議員
- ⑪スーパー防犯灯の導入を
浪江 郁雄 議員
- ⑫支え合い安心できる住民自治組織を
伊藤 幸男 議員
- ⑬与謝野町での高齢者福祉
野村 生八 議員
- ⑭新年度の予算計画について
小林 庸夫 議員
- ⑮高齢者福祉計画書と待機者の実態は
上山 光正 議員
- ⑯住民参加の必要性はさらに高まる
今田 博文 議員
- ⑰食育の推進に関する施策
赤松 孝一 議員

見直すべき教育問題 一体となって



家城 功 議員

教育長 → 連携を強化し課題の解決に努める



子どもの目線で受けとめて

質問 いじめによる悲しい報道が多い中、当町も教育問題について、考えたり見直したり必要では①実態の把握と対応についてと学校との連携は。②教員の資質や仕事量は問題あり。見直す必要は③家庭、保護者の考え方やあり方にも問題がある。

教育長 ①現在深刻と考えられる実態はない。学校との連携を密にとり、児童生徒の危険信号を見逃さないよう早期発見に努めている。②教育に対するニーズの増大により仕事量が増えているのが現状である。業務内容の見直しや合理化を図り、

質問 いじめも含め教育問題は、子どもの目線で受けとめるべき。教員も家庭も、それぞれの役割を自覚し、一体となった連携の中で早期にやるべきことは早期に行い、計画をもって取り組む事は十分な検討をし、いま一度学校教育を考え直す時期ではないか。

教育長 自助・公助・共助の役割と責任を理解いただき連携強化し努める。

人を育む教育は

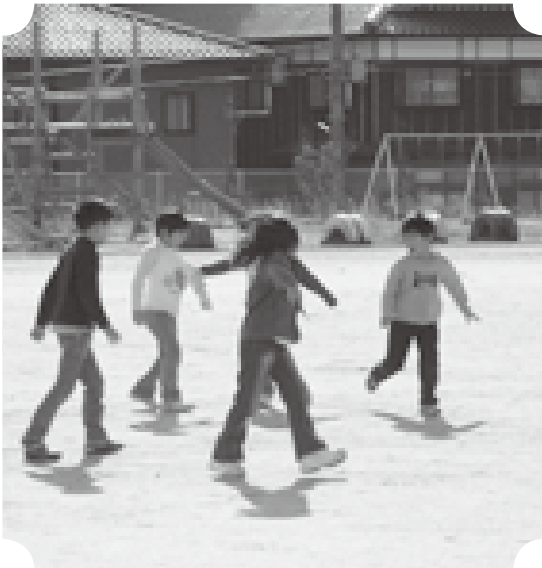
最重要施策では

森本 敏軌 議員

教育長 → 教育は百年の大計、
広い視野で議論が必要



質問 時代を担う子ども達や若者の育成が重要でいじめ、非行、学力低下など懸念されている。この背景には家庭、地域の教育力の低下や社会の希薄化が言われている。家庭、地域、学校が連携を図り、絆を取り戻し敬虔な心や規範意識を育むなど、命を大切にす豊かな人間性と創造性を備えた規律ある人間の育成への教育再生が重要では。



いまこそ教育再生を

虐待防止への取組みを
質問 児童虐待が府内でも起こり問題となっている。地域虐待防止ネットワークの立ち上げを。

町長 府の支援を受け、

町長 旧加悦町の自然循環型農業は国の方針になったもの、全的に発展させ、特産品のブランド化、地産地消の推進など、進行を図りたい、農家の皆さんに主体的に参加したい。

与謝野町虐待防止ネットワーク会議を早期に立ち上げ、命や人権が大切にされる町づくりを進めたい。

新町の農業振興策は

質問 マニフェストの元気の出る、頑張る農業支援、振興策は。

年功序列から成果主義へ転換を問う

服部 博和 議員

町長 → 早急に「人材育成基本方針」の策定を行う



質問 年功序列によって日本の繁栄の礎は築かれて来たと思う。しかし、国際競争激化の今日、経済界はすでに成果主義を導入し、ゼイ肉を削りながら切磋琢磨している。賛否両論有るものの、ホワイトカラーエグゼンプションに代表される様に労働時間の自由制も叫ば

れる様になって来ている。自治体においては、三位一体改革によって、国からの支援は激減しているにも関わらず、住民サービスは逆に今後も増え続けて行かざるを得ない。この事を真摯にとらまえるなら、早急に体質改善が必要であると思うが町長のお考えは。

その中で現行制度に疑問を持つ人が38%強あった。この事からも何らかの修正は必要だと思う。しかし人事面は別として、給与面まで即改正して行く事については、慎重な上にも慎重を期さなければならぬと思う。今後早急に「人材育成基本方針」の策定を行ないこれらの問題に対応していく。



年功序列はもう古い？

先生もパソコンを貸与

廣野 安樹 議員

教育長 → 平準化ということで実現を



質問 先生のパソコン設置については、加悦地域の先生には、児童・生徒が設置された時に、先生にも貸与されている。合併で同じ条件で先生にも貸与されるべきだ。先生の不注意からパソコンが盗難にあい、個人情報漏洩するという起きてはならない事故が全



情報漏洩が社会問題に

国で起きている。

先生使用のO A器であれば自由に持ち帰る事ができ、事故の可能性が大きい。貸与により未然に事故を防げるが？

教育長 非常に財政逼迫した折だが、平準化という条件で新年度に予算を要望し、設置を願っている。

廃棄物捨て場の延命化 新設をすると多額の費用がかかる捨て場の

延命化するには、ゴミをダイオキシンの出ない溶融炉方式で焼却する事で、一般廃棄物捨て場へ捨てているゴミが20分の1迄で少なくなる。

近隣にある会社で焼却し延命化をはかるべきと思うが？

町長 ゴミを炉に投入し焼却処理は可能であると聞くが、リンを含むゴミと一緒に処理をするとニッケルの質が低下する。

地域密着型サービス

拠点の確保は

勢 篤 議員



町長 ↓ 19年度で小規模多機能施設を

しの資金の制度がなくなったことへの失望が大き。予算的にも現在の預託金との調整で可能な範囲だと思うが。

町長 合併協議の中で採決により廃止された経過があり、現段階での創設は難しい。

質問 介護保険の創設で私事である介護から社会的介護に転換したはずなのに、現実には介護への不安が払拭できない。19年度では地域密着型施設が計画されているが。

町長 新しいサービスとして住み慣れた地域で24時間支える観点から2ヶ年で2施設を特養の代替として検討している。

高齢者を守るためにも 個人情報の大切さは言を待たないが、今日のように民生委員にすら行政から情報が出ない状況では、対象者自身を守れないと思えるが、ここに来て、行政責任として安全網にすくいあげると

ころが出てきているが。

町長 個人情報保護の観点から開示は困難だが、サービス利用に対する情報等可能なものは、これまで以上に提供が行えるよう努力していきたい。

きびしい経営に支援は 機業をとりまく厳しい環境と年末に向かう中で、旧加悦町での機屋向け暮ら



介護への不安はなくせるのか？

総合計画・都市計画

今後の10年を問う



多田 正成 議員

町長 ↓ 当面は現状で将来的には庁舎の統合も

質問 今後10ヶ年の統合計画の制定に当り、真の経費削減には庁舎の統合は議論から外せない問題と考えるが。

町長 現状では職員が1ヶ所に入れる庁舎がない。統合には財政の投入と一定の基金の積立が必要。

町長 現状では職員が1ヶ所に入れる庁舎がない。統合には財政の投入と一定の基金の積立が必要。

質問 徹底して無駄をなくし財政の強化を。

町長 当分の間は現状のまま、将来的には庁舎の統合は必要と考える。

河川の清掃と取組は

質問 当町には土砂や雑草で埋まっている河川があるが、地域を含め町はどう取り組んでいるのか。

町長 町としては財政も厳しく、自助公助の考え



早く庁舎の統合を！

も調整したい。

織物と観光の具現化

質問 織物が過去最低の生産量となり、極めて厳しい環境だが、新たな歩みに向けて取り組んでいかなければならない。旧町時代の織物と観光のリンク策は今後重要と考えるが。

町長 織物振興事業は観光素材となり得る。観光とリンクし織物活性化をめざす意見を参考にし、検討することを約束する。

コンサル任せの総合計画ではダメ

谷口 忠弘 議員

町長 → 審議会に検討をお願いしているところ



質問 町の10年後を見据え総合計画が策定されようとしているが、その手法とプロセス又予算は。

町長 審議会が11月、3つの部会が設置され、そこで検討がされる。予定として8月に素案が作成され、12月頃に最終答申をいただく。又予算は約700万円。



どうなる？ まちの10年後

質問 地域の声が十分に反映されるべきと思うが、それがどこで担保されているのか。

町長 HPでその都度、情報開示したい。また策定にあたっては、パブリックコメントや、住民説明会など催したいと考えている。

町長 町発足時から各地区の声は聞かせて頂いている。本計画はこの方法でお願いしたい。

質問 選挙時に掲げられたマニフェストとの関係

町長 新町まちづくり計画に基づいたマニフェストなので、総合計画とは違わないと考えている。

旧町単位で地区会議を

質問 旧加悦町の第5次総合計画は地区づくりから始められ協働によるまちづくりを提唱された。本庁から遠く面積も広い旧加悦町住民の声が、パブリックコメントと住民説明会だけでは十分とは思えないが。

用語解説

パブリック・コメント

パブリック・コメント手続とは、行政機関が政策の立案等を行う際、その案を公表し、この案に対して広く国民・事業者等の皆さんから意見や情報を提出していただく機会を設け、行政機関は、提出された意見等を考慮して最終的な意思決定を行うというもの。

(総務省Webサイト)

教育基本法が改正されたが



畠山 伸枝 議員

教育長 → 時代の検証を経た結果。
危惧もある。

質問 政府は国際化、少子高齢化、モラルの低下などを理由に教育基本法を改定した。「やらせ」のタウンミーティングで世論誘導をしてまで改定しようというねらいは何か。また、教育の目標として「国を愛する態度」を加えたが、愛国心を評価することはできると考

えるか。
基本法改定で最初のようにしているのは、全国一斉学力テスト、学校選択制などで教育の荒廃が心配されるが。
教育長 教育は百年の大計だが、時代に合ったものが出るのは歴史の発展の中で当然だと思う。愛国心は自然にわき出てくるものであり評価は困難。教育行政がどう行われるかは、見極めなければならぬ。



「内心の自由」をこの子たちに

新年度予算編成に
質問 住宅耐震対策や平和の取り組みとして、非核自治体宣言などを盛りこむ考えは。
町長 国の補助事業で、木造住宅の耐震診断を実施している。診断後の改修に対する助成は必要だと考えている。世界で唯一の被爆国である日本に住む者として、平和の尊さをアピールする必要があると感じる。

新町の一体感は情報共有から生まれる。全地区有線ネットワークを期待しているが、まずビデオの有効活用を。
町長 3町の融和を図るため情報の共有化は大きな課題と考えている。
図書館(室)は教育委員会と、公民館は区長と協議し配置する方向で。
熊・猪・鹿の被害増加
質問 田畑は勿論、民家にも近づく個々の防衛策も必要になって来た。町の対応を問う。
町長 熊は昨年の4倍、猪、鹿も猟友会駆除班に委託して2百頭近く駆除した。捕獲用オリ、熊用電気柵の購入を考えてい

有線ビデオを

図書館(室)公民館に



井田 義之 議員

町長 ↓ 提案をふまえ積極的に検討したい。

るが、電気柵の補助率の引き上げは考えてない。町民の方は鈴使用や、暗くなったらろうろうせず自分で守る事を考えて欲しい。妙案あれば知り



私も見たい! 有線テレビ

たい。

幼児教育 町民の不等

質問 全国の先進地では幼稚園の時間延長・低年齢児の受入れも実施されている。幼稚園・保育所の一体化も進んでいる。
教育委員長 幼保一元化の議論は当町には当てはまらないが、制度を超えた議論は必要かも。

町政懇談会の答弁実行

質問 9月に質問した小学校の検討委員会は。
教育委員長 資料提供を受け教育委員が研究中。

岩屋西部辺地計画の事業追加

有吉 正 議員



町長 → 所要の見直しを図っていく



宮下水路・農道計画の整備要望箇所

質問 福祉の里周辺整備、町道岩屋川線の関連整備として、町道大門線、雲岩水路、宮下水路・農道など計画に追加をし、町道岩屋川線の関係各位の一層のご理解と協力を得なければならぬ。

町長 財政上の優遇措置である「辺地対策事業債」の対象事業であり、平成

18年度〜22年度の5ヶ年間の事業として、町道岩屋川線事業を今全力をあげて進めている。関係各課の考えも尊重し長期的視野も持ちながら、事業計画期間中であっても所要の見直しを考える。

農振農用地の見直し

質問 平成19年度から「農地・水・環境向上対策」がスタートする。農用地面積が増減した場合支援金はどうなるのか。各旧町見直しから何年たち、与謝野町での見直しの時

期は。

町長 面積に変動が生じた場合支援金の額も変動する。特別管理で旧加悦町7年、旧岩滝町6年、旧野田川町10年経過している。全体の見直しについては総合計画、都市計画との関連もあり、相当の時間がかかる。

行政のスリム化

質問 分庁方式は不便、早く本庁方式に。

町長 必要はあるが、まだまだ整理せねばならない問題がある。

スーパー防犯灯の導入を



浪江 郁雄 議員

町長 ↓ 警察に対して要望を働きかけていきたい

質問 道路や公園など街頭での犯罪防止に、スーパー防犯灯、子ども緊急通報装置の導入を。

町長 ハード面での対策は有効であるが、防犯の基本は、地域と行政が一体となり推進していく。

教育長 公務は多忙であるが、工夫をされている。人的な支援は定数などから難しい。

質問 子どもの成長は、よき教師との出会いによって決まる。また、教員の対応一つで、いじめ問題も状況が全くかわる。

教育長 教員の研修・講座・研究会等を行っている。教育相談の講座に力を入れている。

質問 いじめは悪であり、いじめる側が100%悪い、という認識を、学校、家庭、地域に徹底すべき。

教育長 そのとおりであり、指導に当たっている。

いじめ問題について

質問 いじめ問題が異常な広がりで見開き、前例のない事態が続いている。実態把握、意識低下防止の為のアンケート調査は。

教育長 いろいろアンケートを行い、教材として、人権学習を進めている。

質問 教師が雑務に追われ忙しく、子供と向き合う時間が確保出来ない。バックアップ体制が必要。



犯罪ゼロのまちづくりを



まちづくりに住民参加が進んでいる

支え合い安心できる

住民自治組織を

伊藤 幸男 議員

町長 ↓ 地域協議会も区も両輪
で協働のまちづくりへ



質問 戦後、二度と戦争はしないとの思いで作られた憲法と地方自治法に、住民自治が規定された。近年、大企業が史上空前

の大儲けをしている一方で、国民の暮らしと営業、社会保障が後退している。こうした中で、住民自治が全国的に高まっている。

高齢化も進み、合併して面積が広くなり、町行政が身近でなければならぬ。これからは住民の声に町政に生かされ、住民参加が欠かせない。23号台風も体験した訳であり、そのためには小集落での助け支え合う、地域協議会と住民自治組織がどうしても必要だ。上越市ではこの組織の役員を公選できめ、まちづくりに住民参加が進んでいる。本町でも住民組織に財源と権限、人的配置を行ない、自主的なまちづくりを進めるものにすべきだと思いませんか？また今の地域振興課が総合窓口業務を行なうべきでは？

町長 地域協議会は住民の声を反映させる組織だが、地域の課題を行政と一緒に協働のまちづくりを進める組織にし、現在の区の組織は存続させ、これを両輪で進めたい。地域振興課の総合窓口化は検討していく。

与謝野町での高齢者福祉

野村 生八 議員

町長 → 誰もが当たり前にくらせる社会に



質問 新町での高齢者福祉の理念や目標はなにか。
町長 福祉は施しではなく、高齢者であれ障害者であれ、当たり前前の生活を当たり前に送ることのできる社会をめざすこと。野田川の「福祉の里」建設では、「ホームのようなまち、まちのようなホーム」をと、今までに

はない特別養護老人ホームを建設した。今後も町全体をそういうものにしてほしい。子どもたちの福祉も含めて全体的に、垣根がないようすずめる。
福祉で雇用を増やす
質問 福祉の職場で、女性が働きやすい雇用形態を作り、雇用を増やす取り組みをすすめる考えは。

労働環境が過酷で女性が中心的な担い手だが、子育てなど家庭との両立が厳しい。福利厚生や地域の子育て支援などで、安心して働ける環境づくりを進めたい。福祉で雇用を増やす、特に女性の雇用を増やす計画をつくっていききたい。
町を福祉空間としてとらえ、施設や制度全体で支えをする福祉の計画づくりをしている。19年度より進めていく。



新たな産業となる福祉



最近、「市町村崩壊」の番組が多くない!?

新年度の予算計画について



小林 庸夫 議員

町長 ↓ 持続可能な
行政運営に努力

質問 町の柱となるべき産業が見当たらないなか、第二の夕張市にならないかという心配の声あり。

町長 国、地方ともに巨額の債務を抱え、地方財

新年度予算を組まれるにあたっての思い展望は。

額を削減し、地方財

政は三位一体の改革とも合わせ、危機的な状況のなか住民サービスを後退させないために、行財政の効率化を図るなど努力している。

当町の財政状況も経常収支比率96%、3ヶ年平均実質公債比率15・9%と決して安心できる数値ではなく、今後の財政運営しだいでは予断を許さない状況である。このような中、町長を本部長とし助役・各課長級で構成する行政改革推進本部において各種施策・事業の費用対効果や事務費・管理費等も含めた経常経費の効率化による削減について鋭意検討中。

税についても払いたくても払えない場合もあるので税務課を通じ、どうすれば納めることができるかという相談がけをしていただき、私どもは預かった税を無駄のないように町民の方に還元していく、ということを念頭に財政運営をさせていただく考えである。

高齢者福祉計画書と待機者の実態は

上山 光正 議員

町長 → 明確な説明は3月議会で



質問 福祉計画書では、平成19年度より小規模多機能型居宅介護施設の設定によりサービスの提供が開始される。

そこで、設置場所・施設規模の内容を伺い、更に重要なのが、原資・予算規模・国の補助金・京都府の補助金・与謝野町の負担額と一番大事な受



福祉の現場は待ったなし!

け皿である事業者の認定並びに負担額・実施計画の概要と進捗状況も伺うと共に、小規模多機能居

宅介護と地域密着型介護老人福祉施設入所生活介護との比較で、第3期計画では後者の整備を見込まないとの見解ですが、

どの点が緊急性、重要性の判断の基礎となり第3期計画を見送られたか。

町長 事業者、拠点施設の限定など調整に職員も走り回っている状況の中、現時点では具体的に申し上げられないが、3月予算議会では、明確な説明が出来ると思う。

きよう1日安眠したら3日修正にかかり、3日寝たら10日の修正が必要、

福祉制度の多様化専門性が問われ、町職員全体が政策能力を習得、発揮できる職場づくりを進める事を約束したい。

住民参加の必要性はさらに高まる

今田 博文 議員

町長 → 出来ることを、力を合わせてやりたい



形を検討、模索したい。

協働の町づくりに影響

質問 体育行事最大のイベント駅伝の中止は、町を愛する気持ち、自ら頑張ろうとする思いに水をさすことにならないか。

町長 駅伝は合併による部分と関係者の連携不足があった。今後は行政にしか出来ない責務を果たす地域づくりを目指す。

スポーツの振興を

質問 社会体育の振興は、

町長 与謝野町スポーツ振興計画が必要と感じる。

体育協会の体制は

質問 与謝野町体協と地域との連携は取れるのか。

教育長 副会長が中心になり活性化を図る。

入札制度の透明性を

質問 3人の知事が逮捕

される異常事態になった。独占禁止法、官製談合防止法が改正され談合を許さない社会の流れになった。

町長 予定価格の公表、

最低制限価格の設定、工事費内訳書の提出など検討に加え公正、透明な入札制度にしたい。

質問 少子高齢化の進行、地方分権型社会への転換など公共サービスや地域のあり方が問い直されるなか、行政と住民のパートナーシップの構築が求められている。

町長 NPOやボランティアとの協働が町づくりには不可欠、各種団体に行

政の一部を委ねるような



連携不足では勝てません！

食育の推進に関する施策



赤松 孝一 議員

町長 ↓ 食育推進計画の作成できていない

質問 地元産の食材を使用する（地産地消）

調理を家族でする（協働）家族で食卓を囲む（共食）いただきます、ごちそうさまと声を出す（感謝）

これは私の努力目標です。

町長 「食育とは何なのか」「なぜ、今、食育が必要なのか」という点を切り口として、町を挙げた取組の一つとして検討する。

放課後教室と学童保育

質問 来年度から文部科学省と厚生労働省の共同事業により、全国の公立小学校で「放課後教室」を実施すると発表され、来年度の総事業費は一千億で、国、都道府県、

市町村、各3割負担と予算付けもされている。町内の学童保育との関係、町の方針を尋ねる。

町長 教育委員会と福祉課の連携をはかる。文部科学省所管の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省所管の「放課後児童健全育成事業」を連携して実施する総合的な放課後対策事業を推進するもの。本町では旧加悦、旧野田川の各小学校区で放課後児童クラブ（厚生労働省所管）を実施している。所管課が連携し、事業の円滑な推進に努める。



今、注目される食育

全国納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

僕の家族に欠かせない税金

与謝野町立江陽中学校三年 小谷 大地

僕の父は、自営で大工の仕事をしています。だから毎年、税金の申告の時期になると、僕の母は一年分の色々な領収書の整理におわれています。

父は平成三年（僕の生まれた年）に独立して、建築業を自営するために大工工場をたてました。その時、建築業に必要な機械も買いそろえました。それらはすべて、借金だったそうです。

自営を始めて今年で十五年ですが、税金の申告は最初の頃は、父も母も全く分からなくて、税務署の人に、まかせっきりだったそうです。だから、必要な領収書などを全部捨てていたそうです。自営を始めて何年か過ぎた頃、父の友人の税理士

さんに、母が習って、ノートのつけ方、領収書の整理の仕方などを詳しく教えてもらって、母は、税金の申告は自分で出来る様になりました。

税金の申告は、毎年ほとんど変わっていくので、「新しい事を覚えるのは、大変だ。」と母は言っています。しかし、自分で申告が出来る様になると、昨年働いた分の金額が良く分かるし、自分で申告することで、余分なお金を支払わずに済むという事を母は教えてくれました。

又、僕の母は三年前に、生まれつき悪かった股関節の手術をしました。その時、一ヶ月半程入院しましたが、かなりの医療費がかかりました。退院する時、一旦色々な通帳を解約して支払いしました

が、後で役場の福祉課で手続をすると高額医療制度があるおかげで、限度額を超えた額が返って来ます。又、与謝野町では、中学三年生まで、病院の医療費が手続きすると、全て返って来ます。これらは町に税金をちゃんと納めているからこの様な制度を受けることが出来るのです。

僕の母は足の手術後障害者になってからは、車の税金が免除になったり、手術の為に会社を退職した時もハローワークでの雇用保険の認定日も、普通なら一八〇日程度なのが、三〇〇日も保険金をもらうことが出来て、母はとても助かったそうです。

この様な制度も、すべて税金でまかなわれていて事を母は教えてくれました。税金というものは、頑張っただけじゃ働いていっばい支払わないといけないし、働いていっばいお金を儲けなければ生活が苦しいし、「難しい」

と両親は話しています。最近では、以前の様に大工の仕事もあまり忙しくなくなつて、父も工務店で働く様になったので、税金も年々支払う金額が少なくなっています。その分多分生活も楽じゃ無いのだらうと思うし、僕達が大きくなるにつれて、お金もかかると思うから、欲しい物があつても出来るだけ我慢しようと思うし、高校に行ったらアルバイトをして、自分の物はなるべくバイト代で買うようにしようと考えています。

今回税の作文を書く事になって、母に色々教えてもらって、知らなかった税の事を詳しく知る事が出来て、良かったと思います。



前号「議会だより2号」の訂正とお詫び

議会広報特別委員会

前号「議会だより2号」に訂正箇所がありましたので、次のとおり、訂正と、お詫びをいたします。

- P.2の大見出しの「平成17年度（旧三町と与謝野町・特別会計特別会計含め）」を、「平成17年度（旧三町と与謝野町・特別会計含め）」に訂正。
- P.3の下の表の「一般事務組合会計」を、「一部事務組合会計」に。
- P.4の2段目の小見出しと文中に「不要額」を「不用額」に。
- P.4の5段目の「産業観光主査」を「商工観光主査」に。
- P.6の1段目の最後の「電機柵」を「電気柵」に。

- P.8の補正予算表の「国民健康保険1号」、累計総額「10億1,619」を、「国民健康保険（石川診療所の直営分）1号」、累計総額「1億0,162」に。
- P.12の4段目「市場簡易水道送・排水管布設工事」を「市場簡易水道送・配水管布設工事」に。
- P.12の4段目「加悦簡易水道算所浄水所改良工事請負契約（土木）」と「加悦簡易水道算所浄水所改良工事請負契約（電気関係）」を「…浄水場…」に。
- P.21の下の見出しの答弁者が「町長」となっているが、「教育長」に。
- P.22の1段目の3行目、「額、及び収入未済額」を、「額、及び収入未済額」に訂正。



石川小学校の紹介

石川小学校では、教育目標「生きる力」を育む」と題して、1年間のまとめに取り組んでいるところです。学習では、次の学年に向かうための基礎・基本をしっかりと身に付けるためのまとめをしています。また行事においても、今後、5・6年生のスキー教室・1年生と新入学生との体験交流・全校縄跳び大会・6年生を送る会、そして卒業証書授与式へと向かっていきます。



■1年 多田 光希



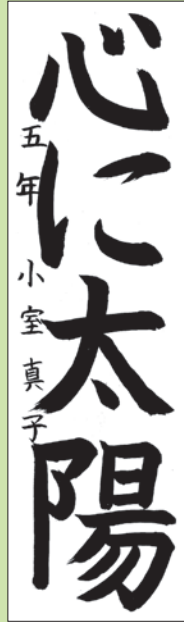
■2年 茂籠 美優



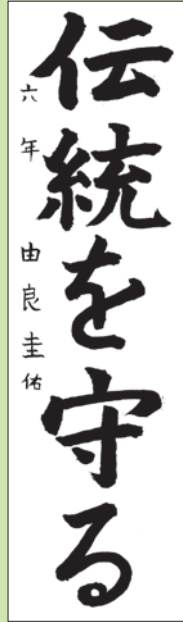
■3年 井上 茉由



■4年 多田 遥香



■5年 小室 真子



■6年 由良 圭佑

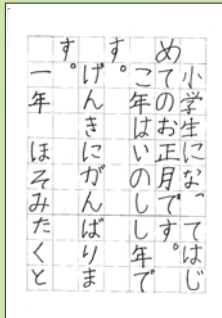
まごの宝

子どもページ

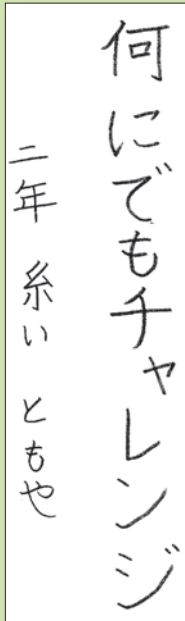
桑飼小学校の紹介

桑飼小学校では、「読書活動」に力を入れています。

12月には、「京都府1000万冊読書キャンペーン」の取組に対し、知事賞をいただきました。



■1年 細見 拓斗



■2年 糸井 智也



■3年 糸井 圭太



■4年 細見 奈央



■5年 藤田 絢子



■6年 藤田 直

編集後記

▼暖かい新年となりました。昨年の漢字は「命」。なぜこんなに命が粗末にされる事件が多発するのか。穏やかで命が大切にされる年であってほしいものです▼広報委員会は1月9日から始まり、新しい気持ちで取り組んでいます▼記事が多く、読む人も大変ですが▼開かれた議会へ。情報公開・説明責任は議会の役割▼住民の知る権利・参加する権利を保障するため、関心ある記事だけでなく、全体に目を通して頂ける「議会だより」にしたいと一同努力しています▼皆さんのご意見、ご感想、ご批判、ご提案をお寄せ下さい。

(畠山)

議会広報特別委員会

- 委員長 伊藤 幸男
- 副委員長 家城 功
- 委員 畠山 伸枝
- 委員 上山 光正
- 委員 小林 庸夫
- 委員 今田 博文
- 委員 浪江 郁雄